

株主・投資家の皆様へ

第54期

# JCU REPORT

年次報告書 (2013.4.1 - 2014.3.31)

## Contents

株主・投資家の皆様へ

トピックス ベトナム現地法人の紹介

特集 銅ピラー接続工法の紹介

連結財務諸表 (要旨)

セグメント別業績概況

株式の概況 / 会社概要



株式会社 JCU

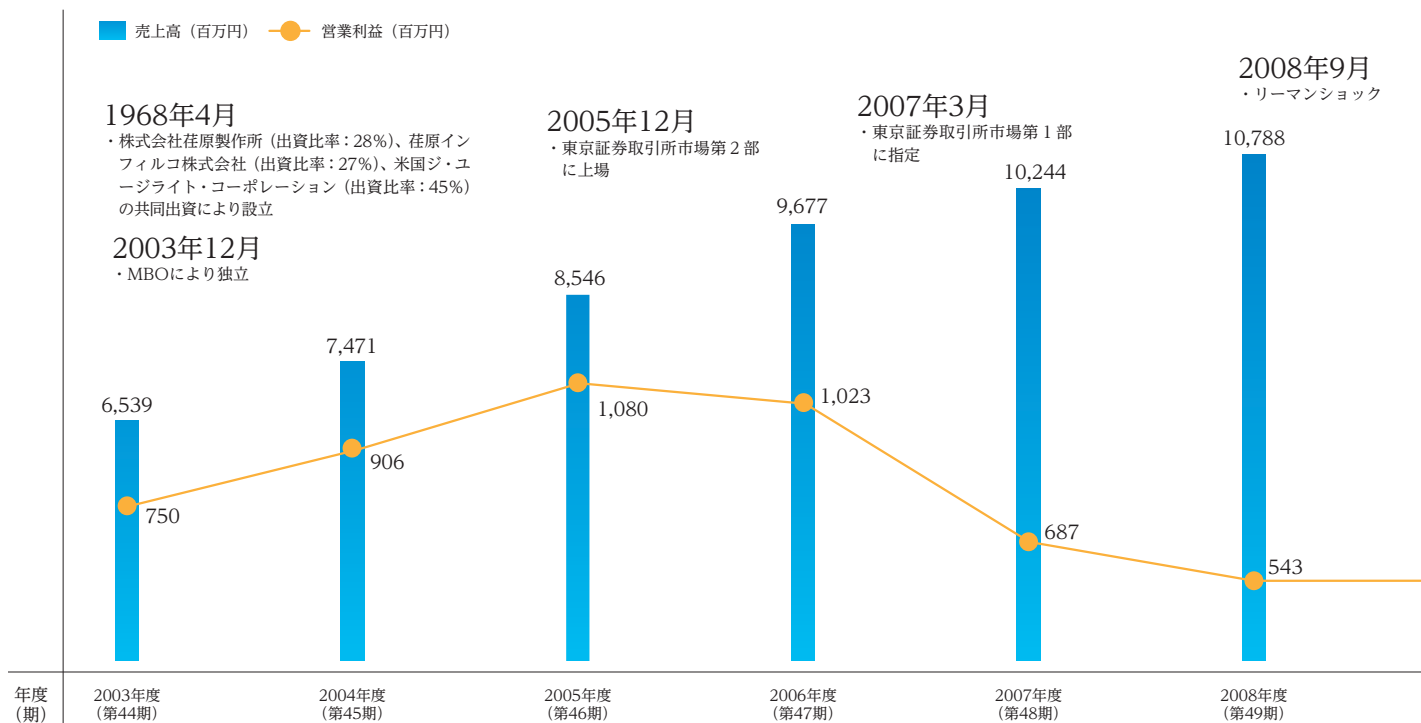
証券コード：4975

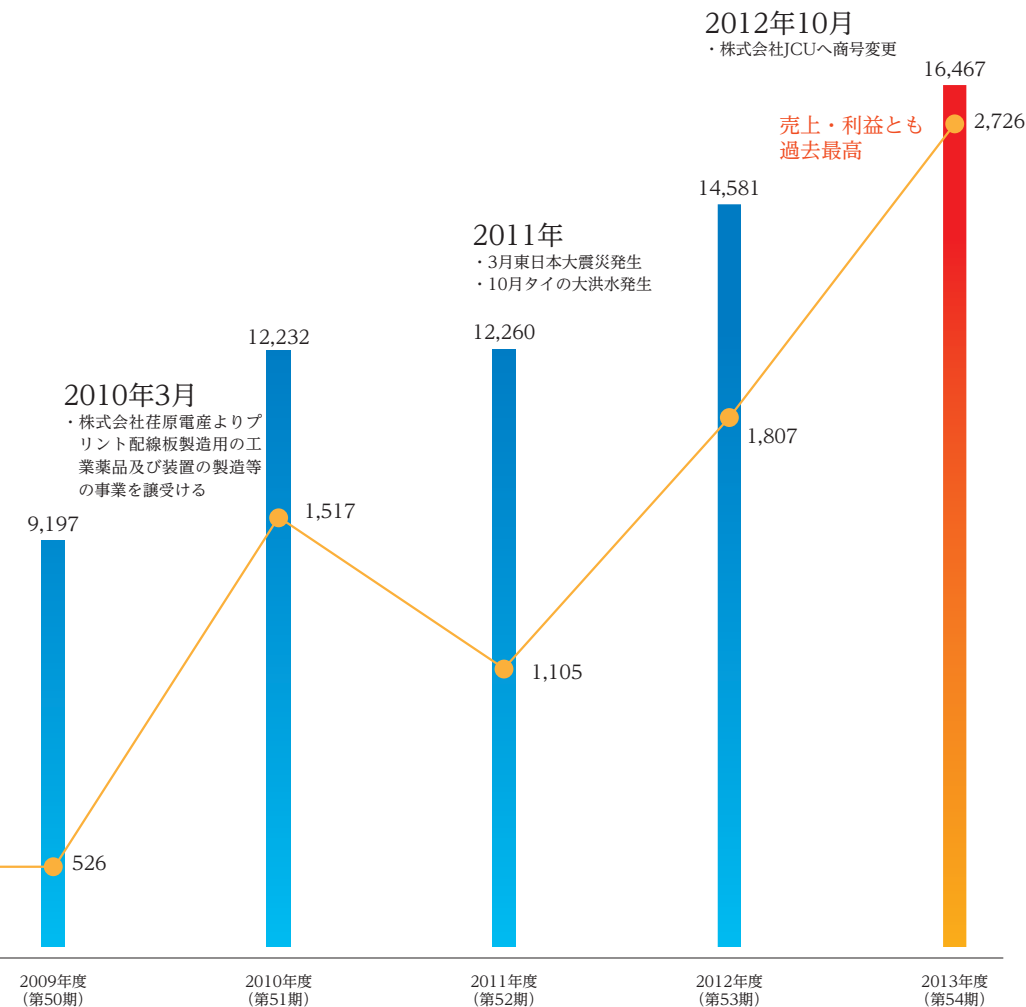


# 株主・投資家の皆様へ 業績の推移



## 2期連続 売上高・営業利益 ともに過去最高を更新





## 【通期ハイライト(百万円)】

### ■売上高

16,467  前期比 12.9%増

### ■営業利益

2,726  前期比 50.8%増

### ■経常利益

2,964  前期比 55.8%増

### ■当期純利益

1,763  前期比 63.2%増



代表取締役会長兼CEO 髙橋 佳久

## 3期連続の最高益更新を目指して

### 第54期の業績と今後の展望

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第54期（2013年4月1日から2014年3月31日まで）の決算は、お陰様をもちまして2期連続して最高益を更新することができました。最終的に売上高164億67百万円、営業利益27億26百万円、経常利益29億64百万円、当期純利益17億63百万円となりました。この結果、株主の皆様に対する利益還元として、上半期に引き続き1株当たり10円の増配を致しました。

この好調の要因は第一にスマートフォン向け銅めっき薬品の海外での売上好調に支えられたものであります。

第二に自動車向けプラスチック上へのめっき薬品の国内外の好調さによるものであります。これらの傾向は海外市場を中心としてますます好調に持続するものと確信しております。従って首記の通り3期連続して最高益更新を目指す次第です。

### 第55期の課題と戦略

スマートフォンの世界シェアに大きな変動があると考えています。また、その中に使われている部品の性能や製造工法にも変更があり、基板ではラインアンドスペース（基板の配線幅と配線同士の間隔）が $8\mu\text{m}/8\mu\text{m}$ から $5\mu\text{m}/5\mu\text{m}$ まで狭くなると思いますが、その技術対応や工法変更に対応する準備はできておりますのでご安心ください。特に銅パター（銅ピラー）工法については、後の特集ページで説明致しますので、ご覧ください。

スマートフォンの最先端技術については、その製造拠点である中国・台湾・韓国市場へ新技術のプレゼンテーションを地道に繰り返し行なうことが最善の方法であると考えています。特に中国のスマートフォンのトップメーカーからは目が離せません。何故ならば彼らがすでに世界市場の60～70%近くを狙う勢いだからです。既存の大手メーカーにばかり気を取られてはいけません。

海外につきましては、現地法人のメキシコ・ベトナム

ム・韓国で、新工場が完成に近づきつつあります。この他、アメリカ市場に参入のための調査団を現地に派遣し、固定化されている先進自動車市場を突破するための必須条件を探り、早急に対応するように指示しております。何としても従来のめっき方法ではなく革新的な技術を持って現状を打破するしかないので、その準備と研究開発を早めるよう特別命令を出しています。

EUでは既に自動車向けプラスチック上へのめっきの前処理を、2016年以降6価クロムフリーにすることを決定しており、これをチャンスと捉え新工法への切口にしようと考えております。

## 新規事業の取り組み

新規事業の方は、相変わらず苦戦を強いられておりますが、太陽光発電事業やコーティング事業は将来に向けた新しい展開ができると考えております。この他、某企業と協力して台湾でエッチング液から酸化銅を再生する事業の開始を予定しております。また他方では、お客様のコストダウンの要求に対応するため不溶解性アノードの分野でも提携を進めるべく交渉を行なっている最中です。

これ以外の進捗として、ノーシアン金については、中国のハルビン工業大学だけではなく北京の精華大学とも共同研究を進めており、完成まであと一歩と言うところ

にきています。台湾での化粧品事業もリピートオーダーがくるようになり、その良さが次第にお客様に理解されるようになってきているため、アンチエイジングや美白などの新製品を次々に投入していきたいと考えております。

当社の新規事業はこれだけではありません。水ビジネスも検討しております。きっかけは、中国のPM2.5の問題について北京の上層部と話をする機会があり、北京は空気が悪いだけではなく水も悪く困っていることを聞き、丁度、富士の名水の話もあり北京と上海で富士の名水を販売するための作戦を開始したのです。あとは中国衛生局の許可が下りればすぐにでも輸出できる状況です。すでに衛生局傘下の北京民族衛生協会のトップを日本に招き、現地を視察していただいております。

私達国内外JCUグループの社員・経営者共々、常に前進すべく努力を致しておりますので、今回の取締役増員決議及び報酬額改定決議についてご理解賜りますよう、今後とも株主・投資家の皆様のご支援をお願い申し上げます。

2014年6月

～トピックス～

## ベトナム現地法人の紹介

JCU VIETNAM CORPORATION 富田 則之

2000年代後半からチャイナ・プラス・ワンとして注目されているベトナムでは、2013年日本からの新規投資が加速し、FDI（直接投資）で57.5億ドルと国別で1位となり、累積投資認可額でもシンガポールと韓国を抜き1位となりました。

輸出に関してもこれまで主であった繊維産業に代わり電子機器産業が台頭してきています。近年では大手電子メーカーのスマートフォン工場が稼働、ヨーロッパの大手携帯電話メーカーの進出により「世界の携帯電話工場」と呼ばれるようになり目を見張る勢いがあります。

また、大手バイクメーカーが海外輸出強化を発表し生産増が期待され、自動車部品関連ではタイの人件費高騰によりタイ・プラス・ワンとしても期待されております。我々表面処理業界においてもこれまで品質の安定で不安視されておりましたが、日系めっき専門企業の進出が増加し、成型加工企業が安心して依頼できる状況が整い始め着々と製造国としての道を歩み始めています。

我々、ベトナム現地法人は2007年3月に設立し8年目を迎えました。設立以来、ベトナムの首都ハノイ市に事務所と工場を構え、現在は日本人駐在員3名と現地スタッフ10名で運営を行っています。当社は二輪・自動車部品、プリント配線板のめっき工程で使用される薬品・装置・関連資材を、ベトナム国内の日系企業を中心に提供させていただいており、2012年7月からは他社に先駆け、いち早く現在のハノイ・ダイトゥ工業団地で薬品の現地製造を開始しました。しかし日系企業の進出・拡大に伴い、これまで以上のサービス向上と現地製造品の供給をコンセプトとし、ハ

ノイ市内から車で約1時間のハナム省ドンバンⅡ工業団地に約6,000㎡、生産能力は現在の最大8倍にまで拡張が可能な新工場を設立することになりました。

2015年には北部の物流拠点であるハイフォン港とハノイを結ぶ高速道路が開通予定で、その他インフラ整備も加速しており安定した運搬ルートでお客様へ迅速に製品を供給できるようになります。

ベトナム現地法人は、現地製造化、エンジニアリングサービスの向上を実施し、お客様が日本と同じ感覚でサポートを受けていただく環境を目指し、安心して当社製品をお使いいただけるように万全の品質管理体制を整え、日々変わり行く現地のニーズを的確に捉えたサポート体制を構築することでお客様に満足していただけるよう努めてまいります。



ベトナム新工場（完成予定図）

特集!

## JCUの 技術力

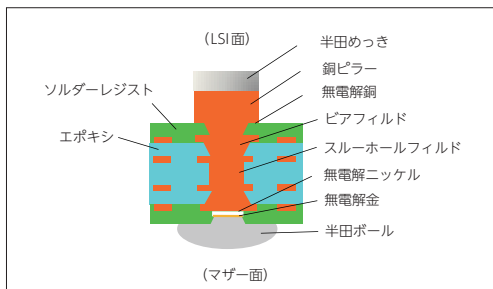
# 銅ピラー接続工法の紹介

総合研究所副所長 萩原秀樹 (工学博士)

### はじめに

私たちの生活に欠かせないパソコンやスマートフォンには様々な基板が使用されています。今回はナノ(nm)サイズ配線の半導体LSIと、ミリ(mm)サイズ配線のマザーボードを繋ぐマイクロン( $\mu\text{m}$ )サイズ配線のパッケージ基板の新工艺を紹介します。このパッケージ基板の代表にはFC-BGA (主にパソコン用) やFC-CSP (主にスマートフォン用) があります。電子機器の高性能化に伴い、これらのパッケージ基板の微細化は究極的な局面を迎えています。

中でも、急を要しているのは半導体LSIとこれらパッケージ基板を接続する工程です。数年前までは金を使ったワイヤー接続が主流でしたが、現在は半田のマイクロボール接続が主流となっています。しかし、この接続工法も配線の高密度化に伴い半田の溶解接続時に電気的な短絡(ショート) のリスクが高まっています。このような背景から、更なる高密度化に対応した銅ピラー接続による新しい工法が注目されています。



銅ピラー基板の概略

### 当社の強み

従来の工法と比べて、銅ピラー工法は次世代の高密度化に効果的であることが期待されています。しかしながら、この工法を用いるには銅ピラーだけでなく、その前工程から後工程まで数多くの工程も必要とされています。当社は、この銅ピラー工法に先駆けて前後工程の開発を手掛けており、今日までにその全工程を揃えるまでに至っています。中でも、最も難易度が高かったのは耐薬品性に優れるソルダーレジスト上へ形成できる密着力の高い無電解銅プロセス(プロセス名:FEED)の開発でした。このように、当社は現在想定される全てのプロセスをラインナップすることで、次世代の環境変化に対応できる準備を整えています。

### 銅ピラー接続基板の市場展望

今後のパッケージ基板の市場は高性能スマートフォンから始まり、スマートTVやウェアラブルデバイスに適用され、究極は人工知能を要する高性能ナビゲーションや介護ロボット市場を想定しています。特に高性能ナビゲーションにおいては、今後のカーエレクトロニクスに必要とされる先進運転支援システム(ADAS)に適用できるものと期待しています。

# 連結財務諸表 (要旨)

## 連結貸借対照表

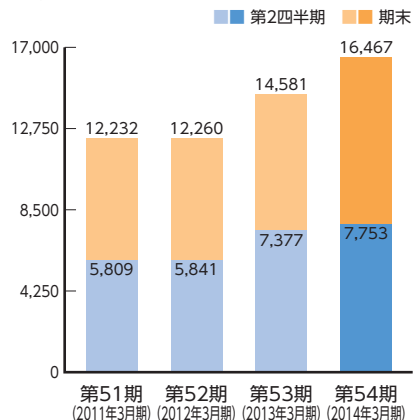
区分	当期末		前期末	
	2014年3月31日現在		2013年3月31日現在	
<b>【資産の部】</b>				
流動資産	<b>12,049,580</b>	<b>10,630,046</b>		
現金及び預金	4,993,948	4,054,999		
受取手形及び売掛金	4,527,949	4,152,677		
棚卸資産	1,273,445	1,154,410		
繰延税金資産	339,086	329,175		
その他	1,010,465	973,697		
貸倒引当金	△ 95,314	△ 34,914		
固定資産	<b>5,084,345</b>	<b>4,766,641</b>		
有形固定資産	3,238,509	2,991,471		
無形固定資産	137,505	197,396		
投資その他の資産	1,708,330	1,577,773		
<b>資産合計</b>	<b>17,133,925</b>	<b>15,396,688</b>		

(単位：千円)

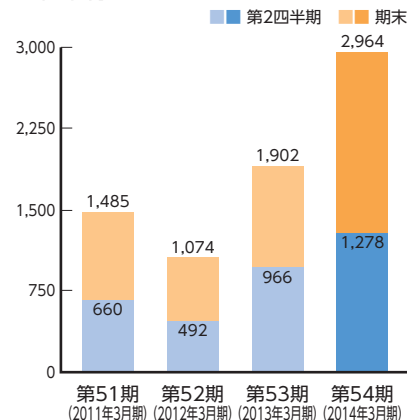
区分	当期末		前期末	
	2014年3月31日現在		2013年3月31日現在	
<b>【負債の部】</b>				
流動負債	<b>5,095,106</b>	<b>5,607,856</b>		
固定負債	<b>2,034,566</b>	<b>2,088,847</b>		
<b>負債合計</b>	<b>7,129,672</b>	<b>7,696,703</b>		
<b>【純資産の部】</b>				
株主資本	<b>9,089,931</b>	<b>7,679,282</b>		
資本金	1,176,255	1,176,255		
資本剰余金	1,128,904	1,128,904		
利益剰余金	6,785,486	5,374,342		
自己株式	△ 714	△ 219		
その他の包括利益累計額	<b>891,309</b>	<b>1,518</b>		
少数株主持分	<b>23,013</b>	<b>19,183</b>		
<b>純資産合計</b>	<b>10,004,253</b>	<b>7,699,984</b>		
<b>負債純資産合計</b>	<b>17,133,925</b>	<b>15,396,688</b>		

## 財務ハイライト (連結)

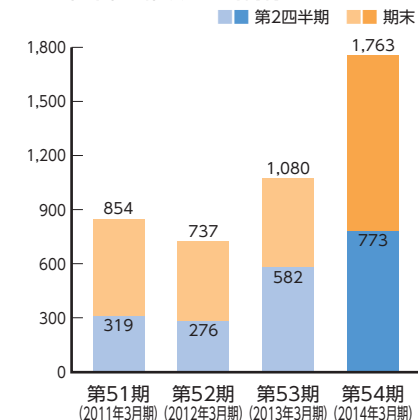
● 売上高 (単位：百万円)



● 経常利益 (単位：百万円)



● 四半期(累計)及び当期純利益 (単位：百万円)





## 連結損益計算書

(単位：千円)

区分	当期 (自 2013年4月 1日 至 2014年3月31日)	前期 (自 2012年4月 1日 至 2013年3月31日)
売上高	16,467,379	14,581,371
売上総利益	8,682,804	7,009,826
販売費及び一般管理費	5,956,766	5,202,683
営業利益	2,726,038	1,807,143
経常利益	2,964,319	1,902,584
税金等調整前当期純利益	2,835,724	1,802,849
少数株主損益調整前当期純利益	1,766,702	1,072,619
当期純利益	1,763,868	1,080,867

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

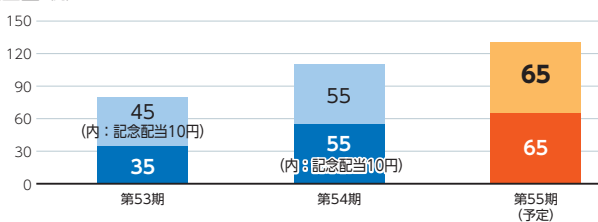
区分	当期 (自 2013年4月 1日 至 2014年3月31日)	前期 (自 2012年4月 1日 至 2013年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,717,185	1,814,311
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 676,056	△ 597,289
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 507,610	△ 988,187
現金及び現金同等物 に係る換算差額	268,720	137,673
現金及び現金同等物 の増減額	802,239	366,507
現金及び現金同等物 の期首残高	3,378,238	3,011,731
現金及び現金同等物 の期末残高	4,180,478	3,378,238

## 株主還元について

### 利益配分に関する基本方針

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために適正な自己資本比率を維持しつつ、業績の状況に応じて配当性向等を勘案し、安定した配当を実施することを基本方針としております。内部留保資金の用途につきましては、今後の事業活動並びに経営基盤の強化に有効活用していく方針であります。

### 配当金 (円)



## 株主優待について

当社の株主優待品は3月31日現在単元株以上保有の株主様へ下記のとおり、「ギフトカタログ」をお届けいたしております。



100株以上500株未満  
5,000円相当の品  
クリスタル



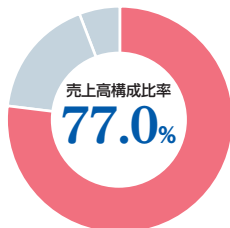
50株以上1,000株未満  
10,000円相当の品  
ダイヤモンド



1,000株以上  
15,000円相当の品  
ラピスラズリ

# セグメント別業績概況

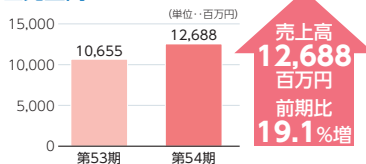
## 薬品事業



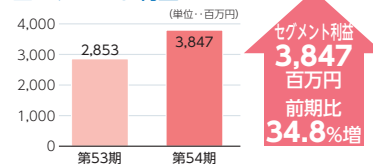
当社薬品使用例



### ■売上高

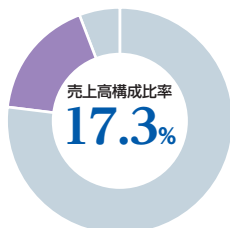


### ■セグメント利益



薬品事業では、国内外市場において表面処理薬品の製造販売、関連資材の仕入販売を行っております。もっとも重要なマーケットと考えているのは、一つは自動車や住宅産業であり、もう一つはプリント配線板や電子部品などのエレクトロニクス産業であります。第54期は、中国、台湾におけるプリント配線板用めっき薬品の販売が伸張し、中国においては、自動車用めっき薬品の販売も順調に推移した結果、売上高・セグメント利益ともに前年を大きく上回りました。

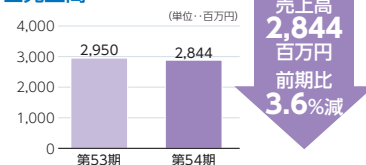
## 装置事業



製品一例



### ■売上高

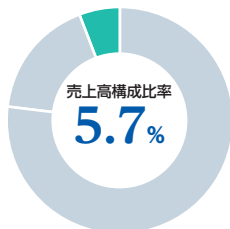


### ■セグメント利益



装置事業では、全自動表面処理装置及び表面処理装置の付帯機器の製造販売を行っております。第54期は、前期受注分の売上計上等によりほぼ前年並みの売上高となりましたが、一方で採算の厳しい海外装置物件を売上計上したことにより、セグメント利益は前年を下回りました。

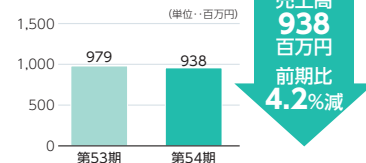
## 新規事業



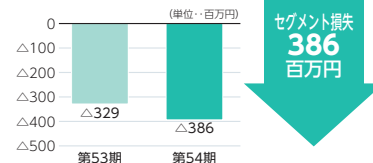
新規事業一例



### ■売上高



### ■セグメント利益



新規事業では、プラズマ技術を利用したプリント配線板のエッチング及び洗浄用装置の販売、スパッタリング装置による着色処理、貴金属めっきの薬品製造販売、コーティング薬剤の販売、環境関連装置の製造販売を行っております。第54期は、太陽光発電設備の販売が好調だったものの、プラズマ装置の販売等が前年を下回り、一方で販売管理費が増加した結果、売上高・セグメント利益ともに前年を下回りました。

# 株式の概況/会社概要 (2014年3月31日現在)

## ● 株式の状況

発行済株式総数…………… 3,527,400株  
株主数…………… 4,470名

## ● 所有者別株式分布状況

■ その他国内法人  
1,342,100株 38.05%

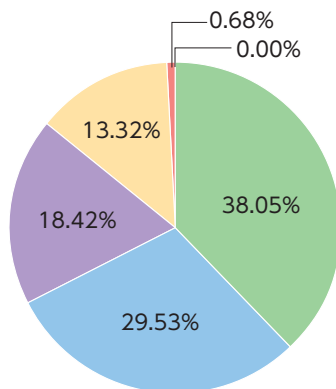
■ 個人・その他  
1,041,483株 29.53%

■ 金融機関  
649,800株 18.42%

■ 外国人等  
469,731株 13.32%

■ 証券会社  
24,053株 0.68%

■ 自己名義株式  
233株 0.00%



## ● 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	354,700	10.05
日本パーカライジング株式会社	113,500	3.21
日本高純度化学株式会社	110,000	3.11
粕谷佳允	105,300	2.98
荏原実業株式会社	100,000	2.83
株式会社S・D・PA	100,000	2.83
日本化学産業株式会社	93,000	2.63
神谷理研株式会社	80,000	2.26
栄電子工業株式会社	80,000	2.26
株式会社ユニゾーン	80,000	2.26

(注) 持株比率は自己株式(233株)を控除して計算しております。

- 商号 株式会社JCU (2012年10月1日より)
- 本社所在地 東京都台東区東上野四丁目8番1号 TIXTOWER UENO 16階
- 設立 1968年(昭和43年)4月1日
- 資本金 1,176,255,128円
- 事業所 【国内】

総合研究所 生産本部 大阪支店 名古屋支店  
九州営業所

### 【主要な連結子会社】

- ・ JCU (上海) 貿易有限公司
- ・ JCU (THAILAND) CO., LTD.
- ・ 台湾JCU股份有限公司
- ・ JCU VIETNAM CORPORATION
- ・ JCU KOREA CORPORATION
- ・ JCU (深圳) 貿易有限公司
- ・ 銀座鈴蘭堂化粧品股份有限公司
- ・ PT. JCU Indonesia
- ・ JCU科技(深圳)有限公司
- ・ JCU (北京) 貿易有限公司
- ・ JCU AMERICA, S.A. DE C.V.

### 【関連会社】

- ・ PROGRESSIVE JCU CHEMICALS PVT. LTD. (インド)
- ・ JCU Nanomate株式会社

## ● 役員一覧

(2014年6月27日現在)

代表取締役会長兼CEO	粕谷 佳允
代表取締役副会長	小澤 惠二
代表取締役社長兼COO	君塚 亮一
専務取締役専務執行役員	中村 憲二
常務取締役常務執行役員	木村 隆男
常務取締役常務執行役員	小林 幹司
常務取締役常務執行役員	林 伸治
取締役常務執行役員	大森 晃久
取締役常務執行役員	新 隆徳
社外取締役	縄舟 秀美
常勤監査役	大野 寛二
社外監査役	伴 峰夫
社外監査役	高井 治
社外監査役	市川 充
執行役員	山本観一朗
執行役員	永井 正雄
執行役員	木村 昌志
執行役員	陸 伯壩
執行役員	西方 順一
執行役員	萩原 秀樹
執行役員	谷野 望
執行役員	粕谷 多聞

## ● 従業員数 連結455名(37名)単体245名(11名)

(注) 臨時雇用者数(パートタイマー、人材会社からの派遣社員を含みます。)は、年間の平均人員を( )外数で記載しております。

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 ( <a href="http://www.jcu-i.com/">http://www.jcu-i.com/</a> ) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店、全国各支店及び営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行 本店及び全国各支店 *トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

## ホームページのご案内

ホームページでは、当社の企業情報をはじめ事業情報や、株主・投資家の皆様向けの情報として、決算発表資料等を適時掲載しております。



トップページ

IRページ



JCU

検索

<http://www.jcu-i.com/>



株式会社 JCU

〒110-0015 東京都台東区東上野四丁目8番1号

TIXTOWER UENO 16階

TEL: 03-6895-7001 FAX: 03-6895-7021

<http://www.jcu-i.com/>